

**失われた地層を、科学館で見よう!!**  
**～オシ沼切通し多摩ローム層模式露頭剥ぎ取り標本～**  
**を公開します!**

今年は5点!  
全長約20m!

5月10日の地質の日<sup>※1</sup>を記念して、川崎市地域文化財「オシ沼切通し多摩ローム層<sup>らうむ</sup>模式露頭剥ぎ取り標本」の7点のうち、昨年度公開した1点を含む連続した5点を、5月11日に公開します。

この露頭<sup>※2</sup>は川崎市多摩区東生田3丁目にかつて存在したものです。そこは多摩ローム層（約29万～13万年前）及びオシ沼砂礫層（約30万年前）の模式地<sup>※3</sup>とされ、多くの研究者にとって関東ローム層研究の重要地点となっていました。平成3（1991）年の宅地造成によって、この露頭は消失しましたが、青少年科学館に剥ぎ取り標本<sup>※4</sup>として保存されていることで、現在の私たちも失われた露頭の実物から、大地の変動を感じることができます。

※1 地質の日は1876年にアメリカの地質家ライマンらによって日本初の広域的な地質図「日本蝦夷地質要略之図」が作られた日で、日本地質学会などで構成される「地質の日」推進委員会によって定められました。

※2 露頭とは、地層が見える崖などをいいます。

※3 模式地とは、ある固有の名称で呼ばれる地層が分布する代表的な地点のことです。

※4 剥ぎ取り標本とは、露頭に接着剤を塗り、布やガラス繊維を貼付け、露頭表面を剥ぎ取った実物資料です。

- 1 開催日時 令和7年5月11日（日）  
10:00～16:00
- 2 場 所 かわさき<sup>そら</sup>宙と緑の科学館 2階学習室  
（川崎市多摩区枅形7-1-2）
- 3 観覧料 無料
- 4 ギャラリートーク ①10:30～ ②13:30～ ③15:30～  
※各回10分程度
- 5 ワークショップ 「マイ地層を作ろう」を開催します。  
①13:00～ ②15:00～ ※所要時間は15～30分程度  
定員：各回先着24名 ※小学生以下は保護者同伴  
場 所：かわさき<sup>そら</sup>宙と緑の科学館 2階実験室  
参加費：無料



「オシ沼切通しの露頭」の剥ぎ取り標本



マイ地層ミニボトルのイメージ



科学館のマスコット  
かわさきぶりん

昨年は1本だけだったけど、  
今年は連続した5本の  
標本を公開するよ。  
全長は、  
なんと約20メートル!!

問合せ先  
川崎市青少年科学館 久保  
電話 044-922-4731

特別展示

オシ沼切通し多摩ローム層

模式露頭剥ぎ取り標本 (川崎市地域文化財)



5月10日は  
地質の日

今年は**5**点！ 全長約**20**m！

食べてはいけない  
**タマゴサンド** 軽石

なめてはいけない  
**ゴマ塩** 軽石

失われた地層を、

科学館で見える

2025年5月11日(日)

10:00-16:00

ギャラリートーク ①10:30  
(各10分程度) ②13:30  
③15:30

場所: そら かわさき宙と緑の科学館  
2階学習室

観覧料: 無料



アクセス  
小田急線 向ヶ丘遊園駅から徒歩約15分  
JR南武線 登戸駅から徒歩約25分



ワークショップ  
「マイ地層を作ろう」

①13:00~ ②15:00~  
各回先着24名限定  
2階実験室

〒214-0032  
川崎市多摩区枳形7-1-2  
TEL:044-922-4731  
<https://www.nature-kawasaki.jp/>